

# 9. 一般国道13号 尾花沢新庄道路

再評価実施後3年経過

## ○事業目的

- ・尾花沢新庄道路は、東北中央自動車道に並行する一般国道の自動車専用道路であり、東北中央自動車道の一部として機能
- ・3次救急医療機関へのアクセス向上
- ・広域ネットワーク形成による広域的な交流・連携を促進

## ○計画概要

起終点 : 自 : 山形県尾花沢市大字尾花沢  
 : 至 : 山形県新庄市大字松本

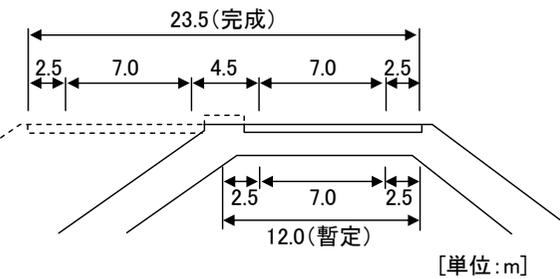
延長(開通済) : 18.2km(14.2km)  
 幅員 : 23.5m(完成)、12.0m(暫定)  
 道路規格 : 第1種2級  
 設計速度 : 100km/h  
 事業化 : 昭和61年度  
 用地着手 : 平成2年度  
 工事着手 : 平成3年度

## 事業費・進捗率

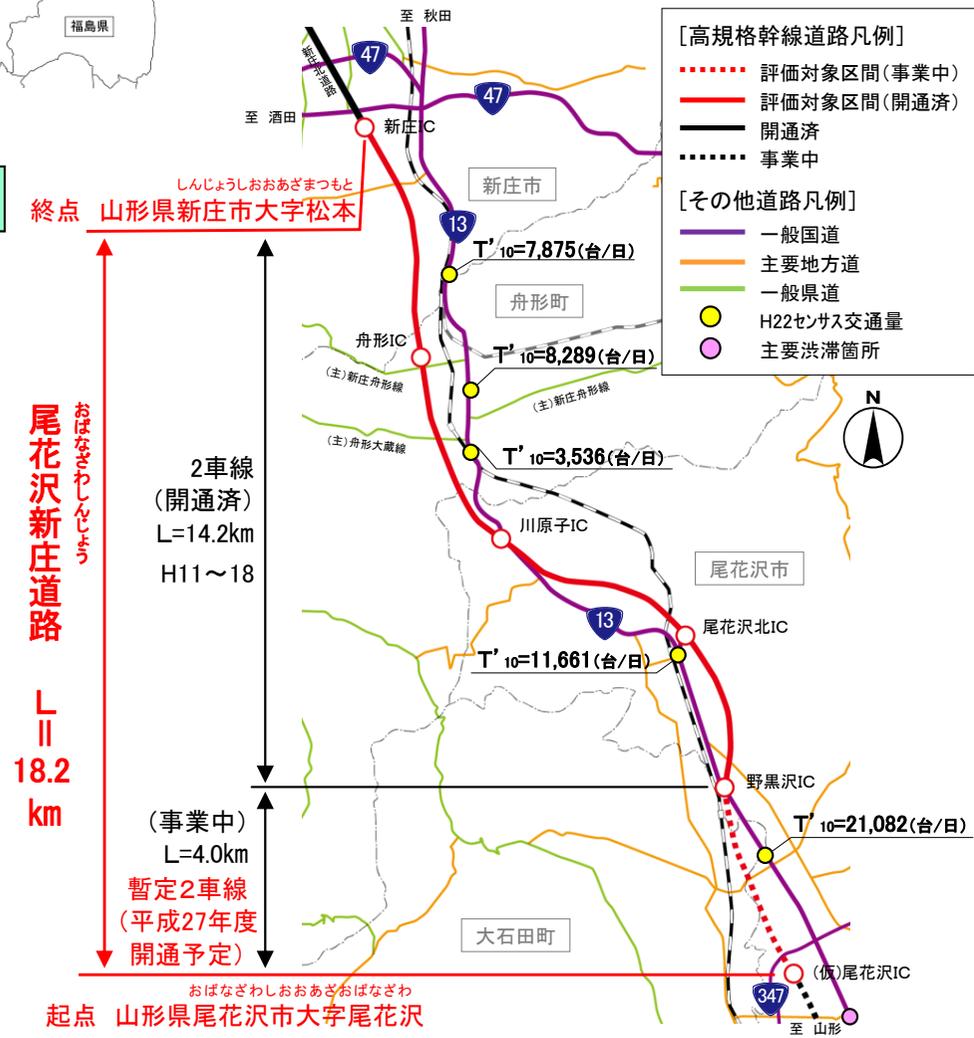
	全体事業費 (うち用地費)	執行済み額 (うち用地費)	全体進捗率 (用地費)	H22再評価時 (用地費)
完成	900億円 (95億円)	748億円 (95億円)	83% (100%)	900億円 (95億円)
暫定	710億円 (95億円)	704億円 (95億円)	99% (100%)	710億円 (95億円)

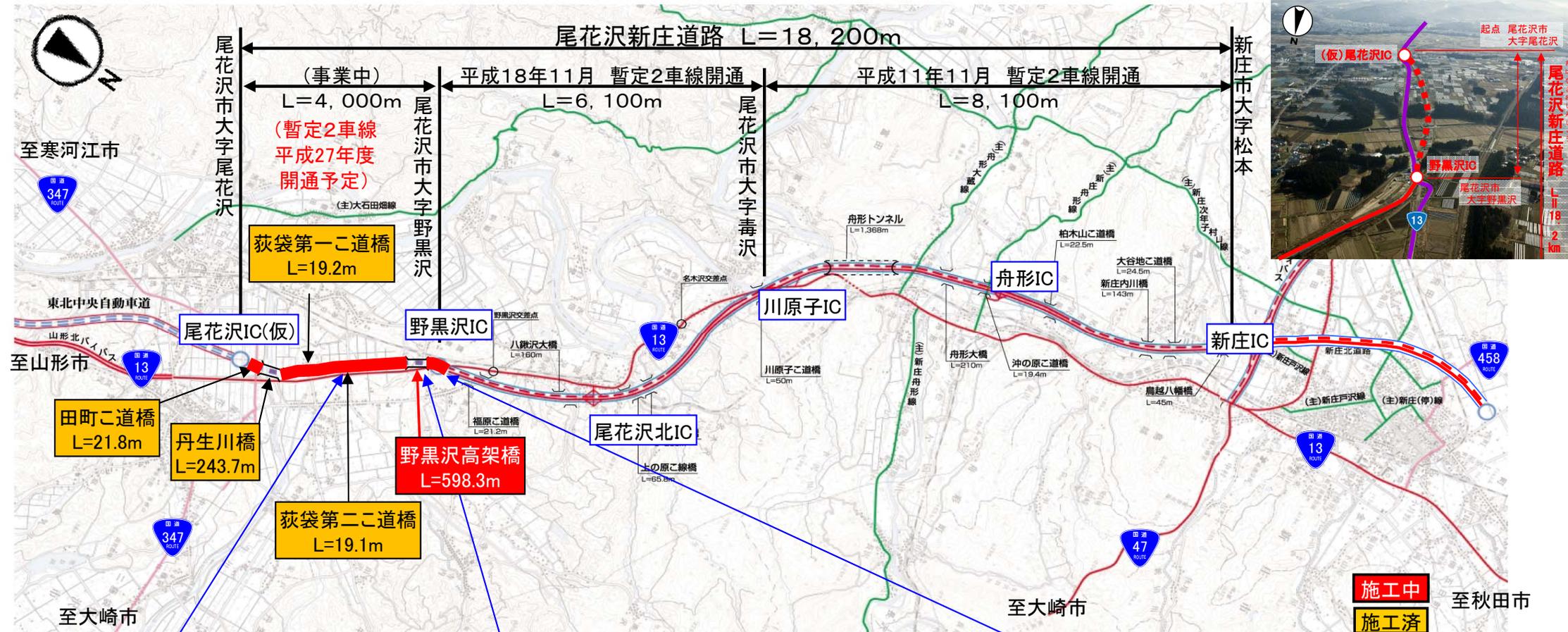


標準横断面図



位置図





萩袋第二こ道橋から北方面



野黒沢高架橋 (A1から北方面) (A1~P10の上部工架設完了)



野黒沢高架橋 (A2から南方面)



野黒沢IC (南方面を望む)



※事業中区間におけるIC名称及び橋梁名称は仮称。

# 前回再評価からの周辺環境の変化

- ◆平成23年3月新庄北道路開通、平成24年度東北中央自動車道泉田道路事業化。
- ◆平成25年2月と6月に、相次いで新庄中核工業団地へ県外企業の進出が決定。
- ◆また、尾花沢市の福原工業団地では、拡大整備を予定している。



## ▼新庄中核工業団地への新たな企業進出を伝える新聞記事

**工業団地に福山通運**

新庄市 県外企業進出7年ぶり

新庄市は、市内の新庄中核工業団地に運送業の福山通運(広島県福山市)が進出すると発表した。同社は2月26日付で、団地を所有する中小企業基盤整備機構と土地譲渡の契約をし、市とも建

村と尾花沢、大石田の2市町をカバーする。取得した土地は5110平方メートルで、雪解けを待って建物を建設し、営業開始は今年12月を予定している。

同工業団地は84年に分譲を始めた。102軒ある用地のうち、これで80軒の分譲が決まった。

資料: 毎日新聞 (H25.3.7)

**新庄中核工業団地 バイタルネット(仙台)進出**

8月着工、12月に業務開始

新庄市の新庄中核工業団地に医薬品 医療機械卸のバイタルネット(仙台市)が立地を決め、同団地を所有する中小企業基盤整備機構との用地売買契約締結式が27日、新庄市役所で行われた。

現在、同市金沢にある同社新庄支店社屋の老朽化に伴い、移転し新社屋を建設する。新たに取得した土地は約3800平方メートル。新社屋は平屋で事務所と倉庫の機能を持たせる。延べ床面積は現在の支店とほぼ同じで、約8600平方メートルとなる見込み。8月に着工し、新支店での業務開始は12月を予定している。

締結式でバイタルネットの齋藤光裕取締役常務執行役員が「災害が発生しても安定的な医薬品の供給ができるようにしていく」とあいさつ。山尾順紀新庄市長は「地域発展のため協力をお願いしたい」と述べた。

同工業団地は1984(昭和59年)に分譲を始め、全50区画中、27日時点で40区画が埋まっている。

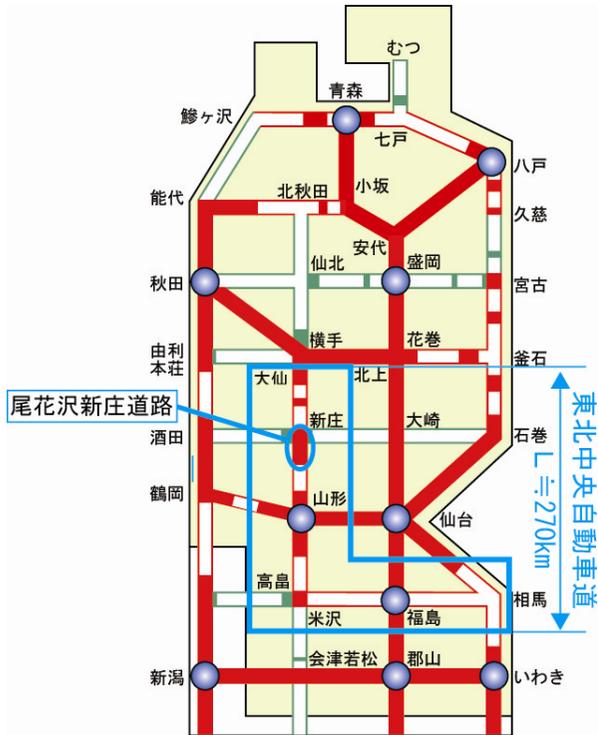
資料: 山形新聞 (H25.6.28)

# 事業の必要性1

## 高規格幹線道路ネットワークの構築

- 尾花沢新庄道路は、東北中央自動車道の一部として、高規格幹線道路ネットワークを形成し、都市間所要時間の短縮を図るとともに、東北内陸部の交流・連携の促進に寄与するものである。

▼格子状骨格道路ネットワーク

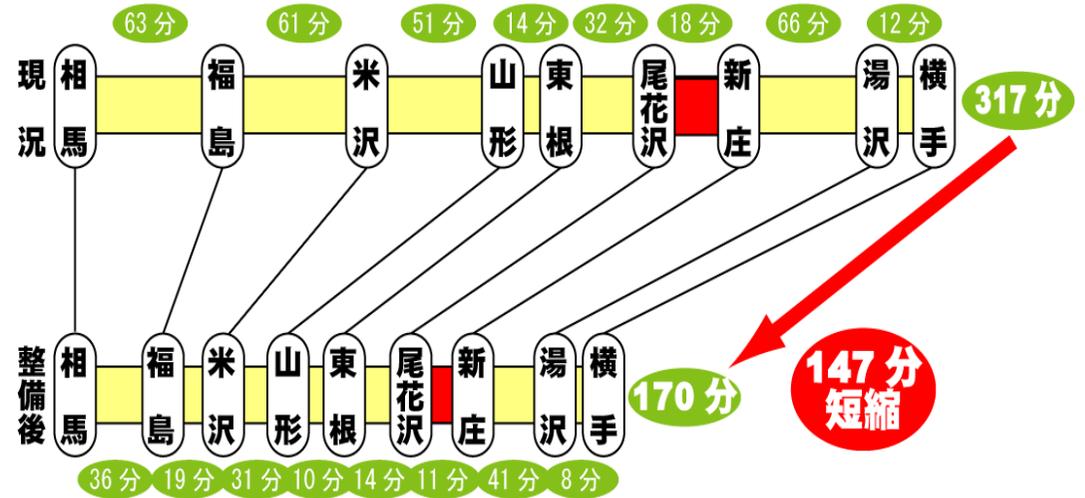


平成22年4月

高規格道路		(供用・未供用)
地域高規格道路等		(供用・未供用)

(平成22年4月現在)

▼相馬市～横手市間の所要時間の変化



資料: 07～08道路時刻表

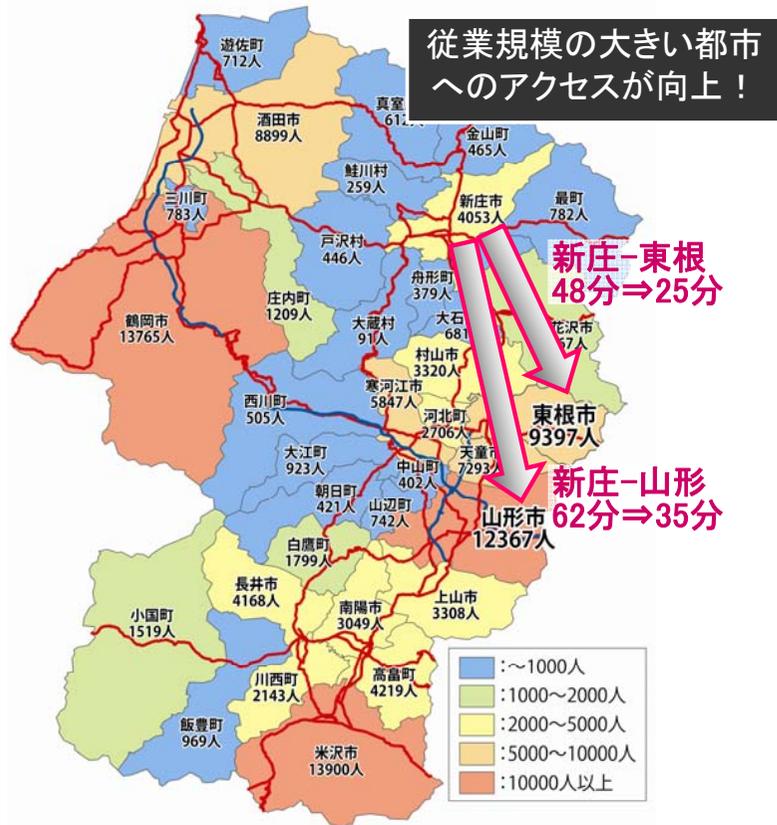
整備後の速度は100km/h(一部80km/h)として設定

現況道路網は、H22年4月現在

## 村山地方への速達性確保

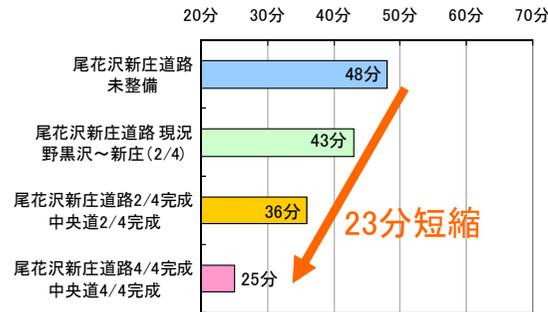
- ・尾花沢新庄道路を含めた東北中央自動車道の整備によって、新庄-東根間で23分短縮、新庄-山形中央間で27分の短縮効果が期待される。
- ・山形県内において従業規模の大きい東根市、山形市等への通勤が十分可能な地域となる。
- ・村山地方への速達性が確保され、最上地方在住者の雇用機会の増加、所得水準の向上、人口流出への歯止めの効果が期待される。

### ▼市町村別工業従業者数(H20)



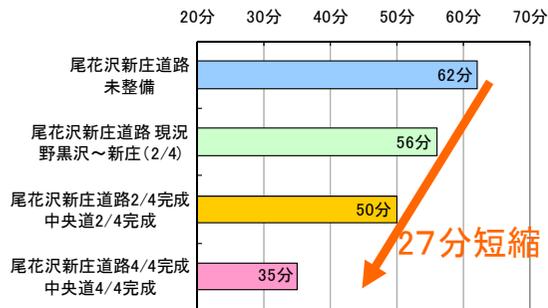
資料: 工業統計表(H20)

### ▼新庄IC-東根IC所要時間の推移



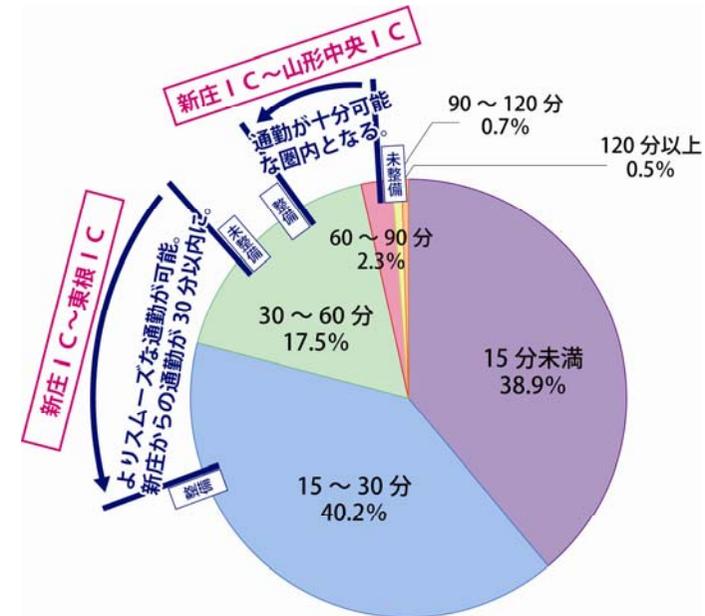
資料: H17道路交通センサス

### ▼新庄IC-山形中央IC 所要時間の推移



資料: H17道路交通センサス

### ▼山形県の通勤実態 (通勤時間帯別世帯数割合)

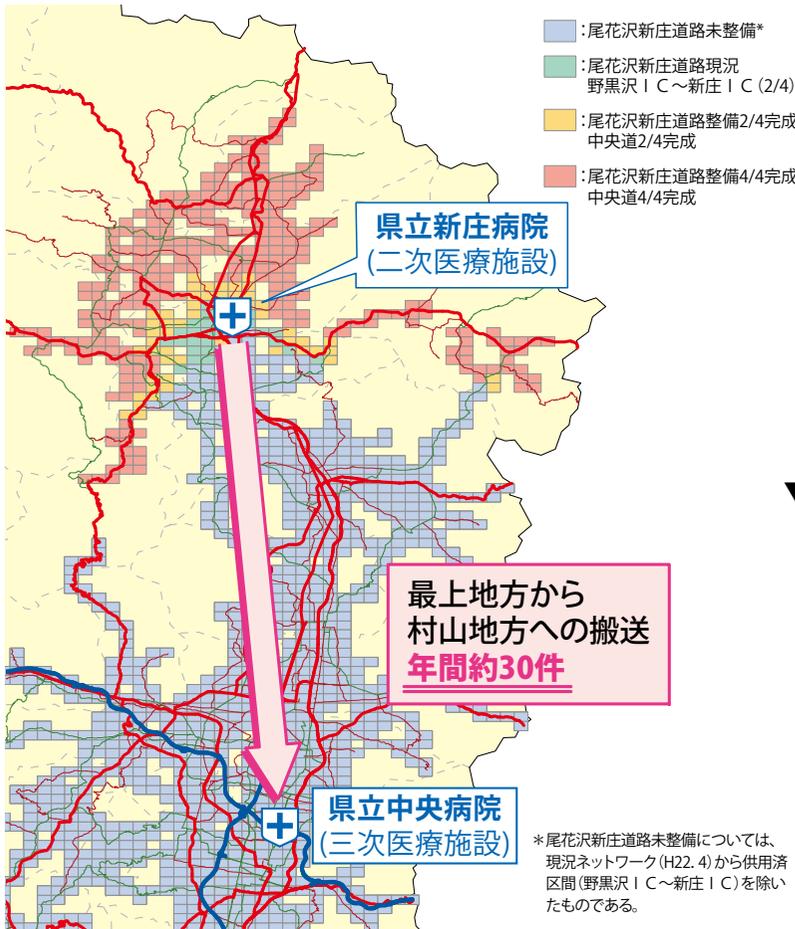


資料: 住宅・土地統計調査(H20)

## 山形県立中央病院(3次医療施設)へのアクセス向上

- ・最上地域は3次医療施設が未整備である他、医師数が全国平均を大きく下回る医師不足の状態にあり、当該地域の高度救急医療の充実には3次医療施設との円滑な連携が重要である。
- ・尾花沢新庄道路の整備によって、県立新庄病院-県立中央病院間の所要時間が7分短縮するほか、3次医療施設である県立中央病院60分圏域人口が約3万人増加する等、最上地方の医療サービスの向上が期待される。

▼県立中央病院60分圏エリアの変化



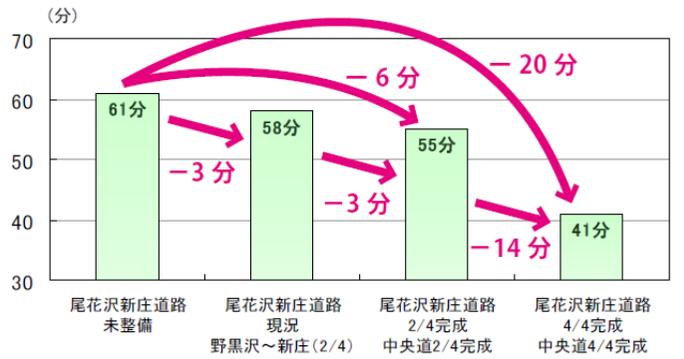
資料: H17道路交通センサス

▼人口10万人に対する医師数



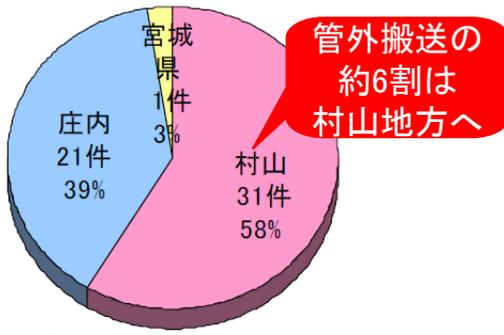
資料: 山形県保健医療計画(H20.3)

▼新庄病院→県立中央病院間所要時間



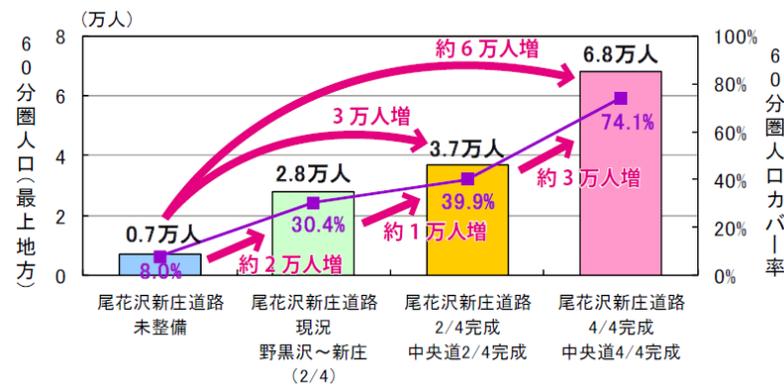
資料: H17道路交通センサス

▼最上地方から各地方への平均搬送件数 (H16~H18)



資料: 最上地域の医療体制のあり方に関する検討報告書 山形県最上総合支庁

▼最上地方の県立中央病院60分圏人口の伸び



資料: H17道路交通センサス

## 物流効率化の支援

- ・1次産業の就業割合が高い最上地方においては農業特産物が多く、「たらの芽」の出荷量が東京卸売市場でのシェアの多くを占めるほか、山菜や野菜、花きの生産に注力している。
- ・尾花沢新庄道路の整備により、搬送ルートの多くを一般道経由から東北中央道経由へ転換することから、輸送コストの低減、不良品低減や鮮度アップが期待され、山形の地域ブランド「おいしい山形」の付加価値向上に寄与する。



### たらの芽

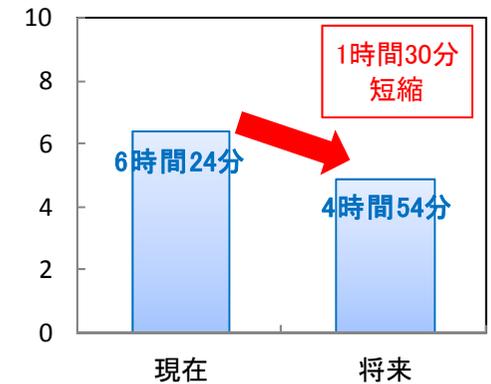
- ・出荷量は山形県が日本一（東京卸市場6割のシェア）
- ・中でも最上地方は県内生産量の5割を占める

### ▼たらの芽の東京中央卸売市場取扱量上位5県

順位	都道府県名	取扱量 (t)	東京中央卸売市場シェア
1	山形	75	63.7%
2	秋田	11	9.6%
3	群馬	8	7.1%
4	福島	7	6.4%
5	岩手	5	4.4%

資料：東京中央卸売市場（H21）

### ▼新庄－東京輸送時間の短縮



将来は東北中央道全線整備した際の所要時間を示す

資料：道路時刻表`07～`08、ドラぷら

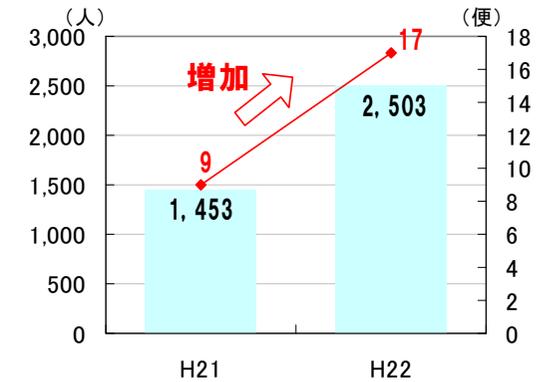
## 観光の支援

- ・山形県では近年「広域観光交流圏の形成」を掲げ、東アジアを含めた観光交流圏の形成促進に注力しており、台湾から山形空港に降り立つツアー観光客が飛躍的に増加している。県内を周遊するツアーでは「最上峡の舟下り」をプランに含めており、ツアー客は最上地方にも多く訪れている。
- ・尾花沢新庄道路をはじめとした高規格ネットワークの整備によって、ツアー客の円滑な移動、滞在時間の延長が望める。

▼台湾人観光客の周遊コース(一例)

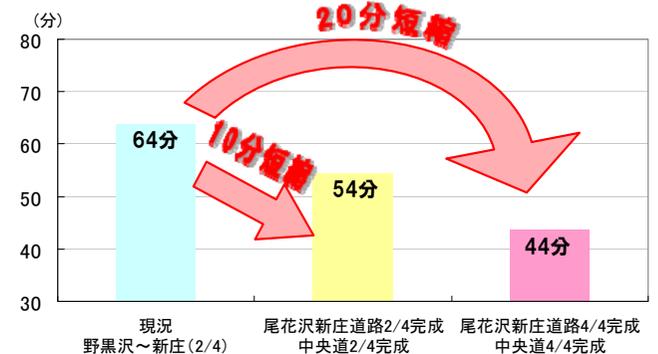


▼台湾プログラムチャーター便の便数及び観光客数



資料:山形新聞 H22.1.21、H22.2.26

▼山形空港－最上峡のアクセス時間



資料:道路時刻表07～08

2車線整備は70km/hとして算出  
4車線整備は100km/hとして算出

台湾プログラム  
チャーター便  
ツアーの概要(H22)

\* 山形空港発着  
(H22.1.21～2.22)  
便数:17便  
参加者数:約2,503人

最上地域を含むコース内容:

山形空港  
↓  
最上川舟下り  
↓  
酒田山居倉庫  
↓  
由良温泉又はあつみ温泉(泊)  
↓  
蔵王樹氷鑑賞など